

# 令和7年度 第48回東毛地区社会教育委員研究集会

## 実践発表

### 桐生市の社会教育について ～放課後子ども教室が安定的・継続的に

充実した活動になるために～

発表者

桐生市社会教育委員会 議長 大澤 直也 氏  
桐生市教育委員会 教育部 生涯学習課 社会教育係  
社会教育主事 高藤 偉生 氏

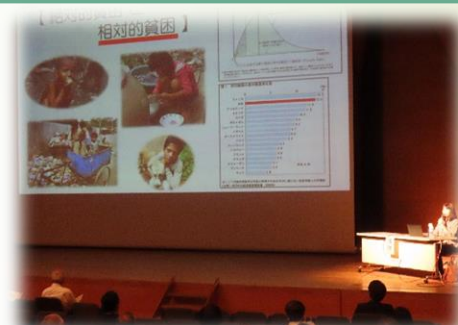
## 講演

### 制度の狭間に挑戦！

～すべての子どもが取り残されない社会を目指して～

講師

社会福祉法人 みどの福祉会 地域貢献部 代表  
こども食堂ネットワークぐんま 代表 丸茂 ひろみ 氏



9月29日（月）に美喜仁桐生文化会館小ホールにおいて、各市町社会教育委員、各市町社会教育関係者、公民館職員、教育委員会事務局職員を対象とした研究集会が開催されました。

桐生市社会教育委員会による実践発表では、平成28年度諮問「子どもの居場所づくり～負の連鎖を断ち切るための社会教育のあり方」に基づき、全ての児童が利用できる「放課後子ども教室」の取組について発表されました。運営・実施を地域住民に委ねることで、「地域で子どもを育てる」という意識の醸成につながっており、参加者にとって学びの多い発表となりました。

講演では、丸茂ひろみ氏を講師にお迎えし、「すべての子どもが取り残されない社会を目指して」という視点から、子どもを取り巻く課題やニーズに応える地域貢献活動についてご講話いただきました。こども食堂やフードドライブなど、実践の取組を通じて、地域を含む社会教育の重要性について理解を深める機会となりました。

## 参加者の声

○放課後子ども教室の取組は単なる子どもの指導／育成に留まらず、地域コミュニティ作りや強化へと発展できるポテンシャルを秘めていると思う。活動に期待します！

○次世代を担う子どもたちのための取組が、多世代を有機的に結びつけることになると強く感じました。

○ご自身の理念「すべての子どもが取り残されない社会を目指す」を具体的に実践し、それが目に見える形で広がっている。とても説得力があり立派です。講師の「利他行」にエールを送ります。